

所属・資格 体育学科・教授

申請者氏名 青山 清英

研究課題		ロシア語圏におけるコーチング学の特徴
報告の概要	研究目的 および 研究概要	本研究では、ロシア語圏におけるコーチング学の代表的な研究者であるプラトーノフ著『年間スポーツトレーニングのピリオダイゼーション 一般理論とその実践的応用』を対象として、ロシア語圏におけるコーチング学の特徴について検討した。
	研究の結果	本研究の結果、西側諸国では技術、戦術、体力といった競技力に関わる個別要素が羅列的に検討され、その結果から個別的なピリオダイゼーションが採用され競技力の向上が目指されているのに対して、東欧ではそれらを帰納的・統合的にとらえてピリオダイゼーションが構成され、それらを個別諸科学の知見がサポートするシステムになっていることが明らかとなった。
	研究の考察・反省	今後の課題として、ロシア語圏における他の専門書について検討するとともに、欧米の専門書や我が国の専門書あるいは国際コーチングエクセレンス評議会 (International Council for Coaching Excellence ; ICCE)、日本スポーツ協会『モデル・コア・カリキュラム』、日本オリンピック委員会 (JOC)『ナショナルコーチアカデミーカリキュラム』のコーチ養成プログラムとの比較を進めていく必要がある。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。  日本コーチング学会第30回大会 (東海大学) にて発表予定。